

<目標> 計画期間：～令和10年3月31日

サッカー移住者による地域活性化

【町主催イベント参加人数】	R7:1,000人	⇒	R10年:1,500人
【町営施設利用件数】	R7:132回	⇒	R10年:200回
【新規事業への参加人数】	R7:10人	⇒	R10年:50人
【交流事業の開催】	R7:1回	⇒	R10年:10回



<PRポイント>

岩手町とI.S.Pが包括連携協定を締結。県内外の女子サッカー希望者の受け入れと、それに伴う移住・定住によって地域の活性化を図っている。

【充実した環境】

- 女子スポーツの地域基盤
- 「学生寮」完備
- 町をあげての就労・定住支援（セカンドキャリア・アップ）



<現状・課題>

人口減少や少子高齢化の影響により、スポーツ人口減少をはじめとする様々な課題がある。

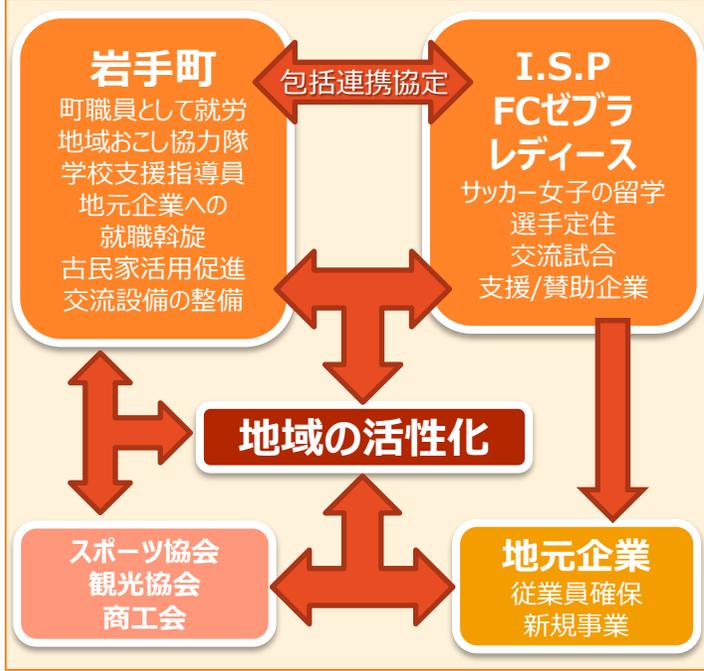
- ホッケー競技者数は減少の一途を辿っており、中学生においては町の合同チームを結成し大会へ出場している状況。
- 県内初のホッケー競技場と人工芝グラウンドを有しており、更なる活用促進を図る必要がある。
- 東北新幹線「いわて沼宮内駅」の利用客数減少に伴い、駅を中心とした街の活性化に苦慮している。
- サッカー強豪地域だった面影はない。現在中学校・高校のサッカー部は廃部、小学生のクラブチーム1つのみ。
- 未就学児童及び小学生の肥満率が岩手県内第1位となっている。

<総合的な取組内容>

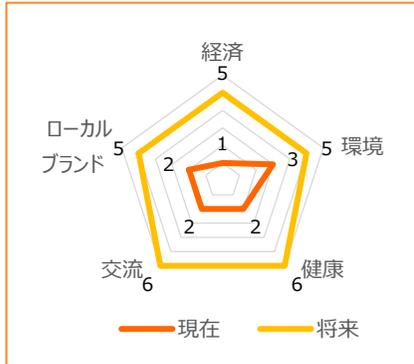
「スポーツ人口増加」「肥満率の低下」「新規事業展開による活性化」などを促進するため、岩手町とクラブチームは、連携して以下のような取り組みを実施する。



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



<セルフチェックシート>



【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号

岩手町教育委員会 社会教育課
Tel: 0195-65-2111 (内線343)